

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2018年9月25日
野村不動産株式会社

リリースカテゴリ

都市型コンパクトタウン

都市再生・地方創生

グローバルへの取組み

不動産テック

働き方改革

健康・介護コース

社会課題

定期報告・レポート

タイ・バンコクにおける分譲住宅プロジェクト第4弾 「PARK Origin Thonglor」 約1,200戸の分譲住宅事業 11月販売開始

野村不動産株式会社（東京都新宿区／代表取締役社長 宮嶋 誠一、以下当社）は、昨年10月の取締役会において、タイ・バンコクにて現地デベロッパーである Origin Property 社（以下オリジン社）と共同での分譲住宅事業「PARK Origin Thonglor」への参画を決定しておりましたが、2018年11月より販売を開始することになりましたのでお知らせいたします。

本件は、タイ・バンコクにおける4つ目のプロジェクトであり、オリジングループの都心型高級マンション「PARK ORIGIN」シリーズにおいては初の共同事業となります。当プロジェクトでは、大規模開発によるメリットを活かし、マンション内に約60もの共用施設を設置するとともに、新たな取り組みとして、インターコンチネンタルホテルズグループ(Intercontinental the global hotel chains, IHG)の協力のもと、ホテルライクな24時間管理サービスを提供いたします。なお、オリジン社とは、昨年8月にバンコクにおける3つの分譲住宅プロジェクトにおいて※1、同年12月には賃貸事業において※2 共同事業を組成済みで、今後も発展著しいタイ・バンコクにおいて良好なパートナーシップの継続を図ってまいります。なお、本年7月には、市場調査および情報収集体制を一層強化すべく、バンコクに駐在員事務所を設立しております※3。



イメージパース

あしたを、つなぐ

 野村不動産グループ

PRESS RELEASE

当社グループは、中長期経営計画（－2025.3）の中で海外事業を成長分野の一つと位置付け、2025年3月期までに、不動産ニーズが高まるアジア諸国を中心に住宅事業・賃貸事業で約3,000億円の投資を計画しており、これまでの実績として、タイ・バンコク、ベトナム・ホーチミンシティ、中国・瀋陽、フィリピン・マニラなどにおいて分譲住宅及び商業施設の開発案件に参画しております。今後も成長が続くアジア諸国において、分譲住宅事業やオフィス事業などを通じ当社が国内で培ってきたノウハウをもとに、「^{あした}未来につながる街づくり」を実現してまいります。

※1「3プロジェクト、総戸数2,000戸超 当社初、タイ・バンコクにおける分譲住宅事業への参画」

<https://www.nomura-re-hd.co.jp/cfiles/news/n2017082401318.pdf>

※2「タイ・バンコク「ステイブリッジスイートバンコクトンロー」サービス・アパートメント事業へ参画

<https://www.nomura-re.co.jp/cfiles/news/n2017121401367.pdf>

※3「タイに海外駐在員事務所を設立」

<https://www.nomura-re-hd.co.jp/cfiles/news/n2018070201450.pdf>

■バンコク住宅マーケット

バンコクの住宅マーケットは、人口増加や中間層の所得上昇等により、長期的に安定成長を遂げており、今後も旺盛な住宅需要が見込まれています。一方、経済成長にともないマーケットのニーズが「量から質」へ変わりつつあり、これまでに当社が日本国内で培ってきた、質の高い住宅づくりのノウハウが活かしやすい環境と言えます。そのような中で、現地ニーズを的確に捉え、商品や品質、サービスでの差別化を共に生み出していくことで、現地の人々に新たな価値を提供してまいります。

■収納・生活空間の提案について

「量から質」へとニーズが変わりつつある中で、現地パートナーと共に、カセサート大学やキングモンクット工科大学 トンブリー校などの複数の大学との産学共同研究を通じ、現地の方々の生活実態とニーズを把握してまいりました。今回、収納部分についてオリジン社と協議を重ね、よりニーズに合った収納・生活空間を実現いたしました。引き続き、当社が培ってきた商品企画・品質管理における部分についても現地パートナーと協業しながら新たな価値を提供してまいります。

■プロジェクト概要

当プロジェクトは、バンコクでも高級住宅街として名高いトンロー地区（ワッタナー区）に立地し、同エリアでは稀少な全1,182戸のビッグスケールで誕生いたします。同エリアは日本人をはじめとする外国人が多く居住し、インターナショナルスクールや最新の飲食店、高級スーパーなどが多く集積します。なかでも、当プロジェクトは古くから同エリアの中心として栄えてきた「トンローソイ10」に立地し、約3,000坪の豊かな敷地に地上39階・53階・61階建ての超高層マンション3棟を開発いたします。

当プロジェクトでは大規模開発によるメリットを活かし、マンション内に約60もの共用施設を設置するとともに、新たな取り組みとして、インターコンチネンタルホテルズグループ(Intercontinental the global hotel chains, IHG)の協力のもと、ホテルライクな24時間管理サービスを提供いたします。

主な4つのサービスのうち、1つ目はコンシェルジュサービス、朝6時から深夜2時まで対応いたします。2つ目はハウスキーピング、入居者は毎日もしくは週1回の清掃を選択できます。3つ目はゲストリレーション、朝6時から深夜まで対応いたします。4つ目はエンジニアリングサービスとして補修などを24時間対応いたします。

あしたを、つなぐ

 野村不動産グループ

PRESS RELEASE

■ 完成予想図



■ 記者会見の様子



左：野村不動産 片山常務執行役員 右：オリジン社 ピラボン CEO

全てイメージベース

あしたを、つなぐ

 野村不動産グループ

PRESS RELEASE

■ 物件概要

所在地	タイ バンコク都 ワッタナー区
交通	BTS スクンヴィット線 「Thong lo」駅 徒歩 17 分
敷地面積	約 9,674.0 m ²
延床面積	約 80,892 m ²
専有面積	約 44,087 m ²
規模（予定）	地上 39 階建、53 階建、61 階建
戸数（予定）	1,181 戸
竣工（予定）	2021 年 12 月

■ 位置図



地図データ：Google

★ …当プロジェクト

■ …参画済案件

■ オリジン社について

- ・2009 年に設立され、タイ証券取引所に上場しているタイの有力デベロッパー
- ・2017 年のコンドミニアム販売額はバンコクで 7 位（オリジン社調べ）
- ・「PARK」「KNIGHTS BRIDGE」「NOTTING HILL」「KENSINGTON」のブランドで展開
- ・コンドミニアム事業の他、管理や仲介等の関連事業や賃貸不動産事業を強化していく方針
- ・時価総額約 1012 億円（2018 年 8 月末時点）、売上高約 345 億円（2017 年）
（1 タイバーツ=3.46 円換算）



あしたを、つなぐ

 野村不動産グループ

PRESS RELEASE

■当社の海外事業について

本事業の他、当社は、すでにタイ・バンコクにて分譲住宅及びサービス・アパートメント事業、中国・瀋陽での分譲住宅事業、北京でのオフィス運営事業、フィリピン・マニラにて分譲住宅と商業施設からなる複合開発案件、ベトナム・ホーチミンシティにて分譲住宅及びオフィスビル事業へ参画をしております。

事業エリア	ベトナム・ホーチミンシティ
総戸数	約 2,300 戸
竣工	2019 年予定
事業内容	分譲住宅
日系共同事業者	大和ハウス工業、住友林業

※2015 年 9 月 29 日リリース



イメージパース

事業エリア	フィリピン・マニラ
総戸数	約 1,400 戸
竣工	2025 年予定（住宅 4 棟部分）
事業内容	分譲住宅、商業施設
日系共同事業者	三越伊勢丹ホールディングス

※2017 年 7 月 10 日リリース



イメージパース

事業エリア	タイ・バンコク 3 案件
総戸数	863 戸、601 戸、685 戸
竣工	2020 年～2021 年
事業内容	分譲住宅
日系共同事業者	—

※2017 年 8 月 24 日リリース



イメージパース

事業エリア	タイ・バンコク
部屋数	303 室
竣工	2019 年予定
事業内容	サービス・アパートメント
日系共同事業者	—

※2017 年 12 月 14 日リリース



イメージパース

※上記総戸数は、何れも計画全体の戸数を示しており、当社持ち分割合ではありません。

本件に関するお問い合わせ窓口

野村不動産株式会社 コーポレートコミュニケーション部

担当：山口・小沼・佐俣・秋葉・渡部

03-3348-7805

あしたを、つなぐ

 野村不動産グループ